

子どもショートステイ 養育協力家庭に なってみませんか？



「子どもショートステイ事業」とは？

保護者の方が出産・疾病・出張等によりお子さんを養育できない時に、宿泊を伴ってお子さんをお預かりする事業です。

預かり期間: 1回につき7日以内

内容: 宿泊、食事、学習の援助、遊び、通園通学等の援助

対象: 2歳～小学6年生までのお子さん

「養育協力家庭」とは？

ショートステイをご利用のお子さんを、ご自宅にて、宿泊でお預かりいただくご家庭のことです。養育協力家庭へは預かり実績に応じて、委託料が支払われます。

養育協力家庭として、地域の子育て世帯のサポートをしていただける方を募集します！

<応募要件: 以下に全て該当する方>

- ①市内に住所がある方
- ②25歳以上 70歳未満の方
- ③次のいずれかに該当する方
 - ・看護師、保育士、教員等子どもに関わる資格を有する者
 - ・養育家庭・フレンドホーム(東京都)の登録または経験のある者
 - ・ファミリーサポート等の自宅での預かり活動の経験のある者
- ④児童の福祉向上に理解と熱意があり同居する家族も児童の受託に十分な理解がある方
- ⑤居室が2室12畳以上で家族構成員に応じて適切な広さを有するご家庭の方
- ⑥18歳以上の健全な同居家族(親族)を有する方

実際にどのようにお子さんをお預かりしているのか

養育協力家庭さんへインタビューしてみました！



養育協力家庭になったのはどうしてですか

- ・自分の子どもも小学校に上がり、少し余裕ができたためです。
- ・子どもと関わる仕事をしていたことや、自分自身も子育てをしている中で助けてもらったこともあったので、やろうと思いました。
- ・養育協力家庭である友人の話聞いてやってみようと思いました。
- ・自分の子育て中に、子育て支援の受け皿が少ないことを知り、子育て支援で力になればいいなと思ったからです。
- ・私は子どもが1人で、フルタイムでのお勤めもしていなかったため、自由になる時間が多かったため、自宅で子育て支援のお手伝いができればと思い始めました。



実際にお子さんを預かってみて、良かったこと・大変だったことは

(良かったこと)

- ・自分自身も勉強になり、成長できた気がします。
- ・預かることを受け入れてくれた自分の家族の優しさに必ず感動します。
- ・子どもの笑顔が出てきたり、預かっていると情が出てきたりして可愛いと感じます。
- ・小学生だった娘に、子どもたちが兄弟のように接してくれたことは娘にも良かったと思うし、私自身も嬉しかったです。
- ・子どもが来ると家族皆が癒されます。預かった子が家族の一員となったようで、楽しい時間を過ごせます。
- ・親御さんから大変感謝をされたときには、感動し、やりがいを感じました。

(大変だったこと)

- ・子どもの急な体調の変化を常に見るようにし、その子の生活リズムを崩さないようにと気に掛けています。
- ・預かった子と家族との相性があるので、家族と子どもの間に入って、お互いが居心地が悪くならないようにしています。
- ・小さい子を預かることが多かったので、思春期の子を預かるときには、対応に戸惑いました。
- ・きょうだい一緒だと、やりたいことが違ったりして満遍なく関わることができず歯がゆく感じます。



養育協力家庭になるのを 考えている方に向けてのメッセージ

- ・退職後の方でも気持ちがあればできます。
- ・難しく感じるかもしれないが、やろうと思う気持ちがあれば、是非挑戦してみてもはどうでしょうか。
- ・大変なこともあるが、最後は感動します。この気持ちを多くの方に、味わって欲しいです。



あなたの子育て経験や資格を活かして、地域の子育て支援に携わってみませんか？
ご興味のある方はお気軽にお問合せください！

問合せ先: 多摩市子ども家庭支援センターたまっこ(多摩市豊ヶ丘 1-21-3 TEL042-355-3833)